

# 事業の概況

## 組合の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス消費をはじめとする個人消費や企業活動は著しく停滞し、また、観光・飲食関連においても厳しい状況が続いています。

このような中、農畜産物価格は低迷し、令和3年度のJA事業を取り巻く環境は、依然厳しいものとなっております。また、食の安全や信頼を脅かす不祥事も発生しており、安全・安心志向がますます高まりを見せました。

こうした中、当組合の自己改革の取り組みとして「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現のためJA一丸となって取り組みました。今年度は第七次中期経営計画の2年度であり、各部門における重点実施事項のさらなる達成に向け、進捗管理を行い、取り組みを実践しました。さらに、JAの教育文化活動を通して、地域の方々にJAを理解していただけるような企画を実施し、JAの取り組みについて情報発信を行いました。

主な事業活動と成果については、以下のとおりです。

## 営農経済部門

新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス消費をはじめとする個人消費や企業活動は著しく停滞し、また、観光・飲食関連においても厳しい状況が続いています。

このような中、農畜産物価格は低迷し、令和3年度のJA事業を取り巻く環境は、依然厳しいものとなっております。また、食の安全や信頼を脅かす不祥事も発生しており、安全・安心志向がますます高まりを見せました。

こうした中、当組合の自己改革の取り組みとして「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現のためJA一丸となって取り組みました。今年度は第七次中期経営計画の2年度であり、各部門における重点実施事項のさらなる達成に向け、進捗管理を行い、取り組みを実践しました。さらに、JAの教育文化活動を通して、地域の方々にJAを理解していただけるような企画を実施し、JAの取り組みについて情報発信を行いました。

主な事業活動と成果については、以下のとおりです。

### 〈米穀部門〉

令和3年産米は田植時期から概ね好天に恵まれましたが、8月中旬の低温・日照不足の影響により、仙南地域における作況指数は「100」の平年並みに留まり、米の集荷数量は23万9千俵（前年対比97.1%）と前年を下回りましたが、一方で上位等級率は90.9%となり、前年を上回りました。

### 〈園芸部門〉

果樹凍霜害に係る補助事業申請支援及び「JA営農継続支援対策事業」を実施し、営農継続支援に取り組みました。また、「玉ねぎ」機械化一貫体系について、新たな貸出用機械（茎葉処理機）を導入し作業効率、品質、収量の向上に努めました。

### 〈畜産部門〉

仙南産仙台牛の普及活動として行政と連携し、「牛肉祭り」の開催を生産者と共同で行い、普及推進に努めました。また、クラスター事業の拡大加速化事業により昨年からの継続して優良繁殖雌牛の導入保留を推進し管内繁殖雌牛の増頭を図りました。

**〈加工販売部門〉**

販促企画、品質向上に力を注ぎ「めぐみ野」商品の普及（供給）拡大に努めました。また、洗卵選別包装機（GPセンター）を更新し、鶏卵の品質向上と作業の効率化に取り組みました。

**〈生産資材部門〉**

肥料価格が高騰する状況の中、代替肥料の提案や欠品回避に向けた仕入交渉を行い、肥料需要の安定供給に努めました。

**〈農業機械部門〉**

農業機械展示会（農業支援フェスタ2021）を通じて、最新農機具の情報提供を実施し、また、JAグループ共同購入トラクター（低コスト農機）の取り組みを行い農業機械価格の低減と生産者の生産コスト低減に努めました。

**金融共済部門****〈信用事業〉**

選ばれ続ける地域の金融機関を目指し、組合員・利用者のニーズに即した事業の展開に努め、特にインターネットを活用した商品の提供や新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら年金相談会の開催、貯金奨励品に管内農産物を取り入れたJAならではのキャンペーン等を継続して展開しました。また、「対話による組合員・地域住民との関係強化」を基軸として金融渉外による資産形成の提案推進活動を展開しました。

**〈共済事業〉**

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ感染予防対策を行いながら対面活動を基本に全世界への3Q訪問活動を実践しながら組合員・利用者とのより一層の関係づくりに努め、ひと保障推進を中心とした複数提案の取り組みを強化することで「ひと・いえ・くるま」の総合保障の確立と事業基盤の維持拡大に取り組みました。

また、令和3年2月より三度に渡り発生した地震被害に対し、迅速な調査始動により共済金支払等において円滑な契約者対応に努めました。

**管理部門****〈協同活動〉**

長引くコロナ禍により活動を制限せざるを得ない状況下でありましたが、各地区の地域活性化委員会が中心となり、「小規模、時短、屋外活動」などを組み合わせながら工夫を凝らした活動を展開しました。その結果、宮城県農業協同組合中央会主催の支店協同活動コンクールにおいて、柴田地区事業本部の活動が優良賞を受賞し高い評価をいただきました。

**〈組織活動〉**

エコキャップマグネットを介しての啓蒙活動が女性部を中心に広がりを見せています。他にも組合員対話運動を通じた直接的な情報の提供やご意見等の拝聴、JAホームページ・公式フェイスブックなどを活用した、良質な情報の発信に努めました。

令和3年度事業活動の成果については、組合員の皆様がJA事業を積極的に利用していただいた結果であり、事業利益は53百万円、当期剰余金は3億94百万円を計上することができました。

これもひとえに組合員の皆様のJA事業に対するご理解とご協力の賜ものであり深く感謝申し上げます。ここに令和3年度の事業概況を報告いたします。